

変わる時代の確かな視点

「人生100年時代の 変わりゆく結婚と家族 最新データ解説」

2021年7月8日 第2回「人生100年時代の結婚と家族に関する研究会」

(株)ニッセイ基礎研究所 生活研究部

人口動態シニアリサーチャー 天野 馨南子



本日取り上げる内容/トピック (20分解説の範囲にて最新データのご紹介)

- 年代別親の構造変化
- 晩婚化データに関する誤解を生じやすいデータ
- 夫婦の年齢差構造の変化
- 夫婦の学歴構造の変化
- 女性の居場所の偏在化
- 20代女性の妊産期への意識変容 (2020年実施 2300人若年女性意識調査より)

年代別親の構造変化

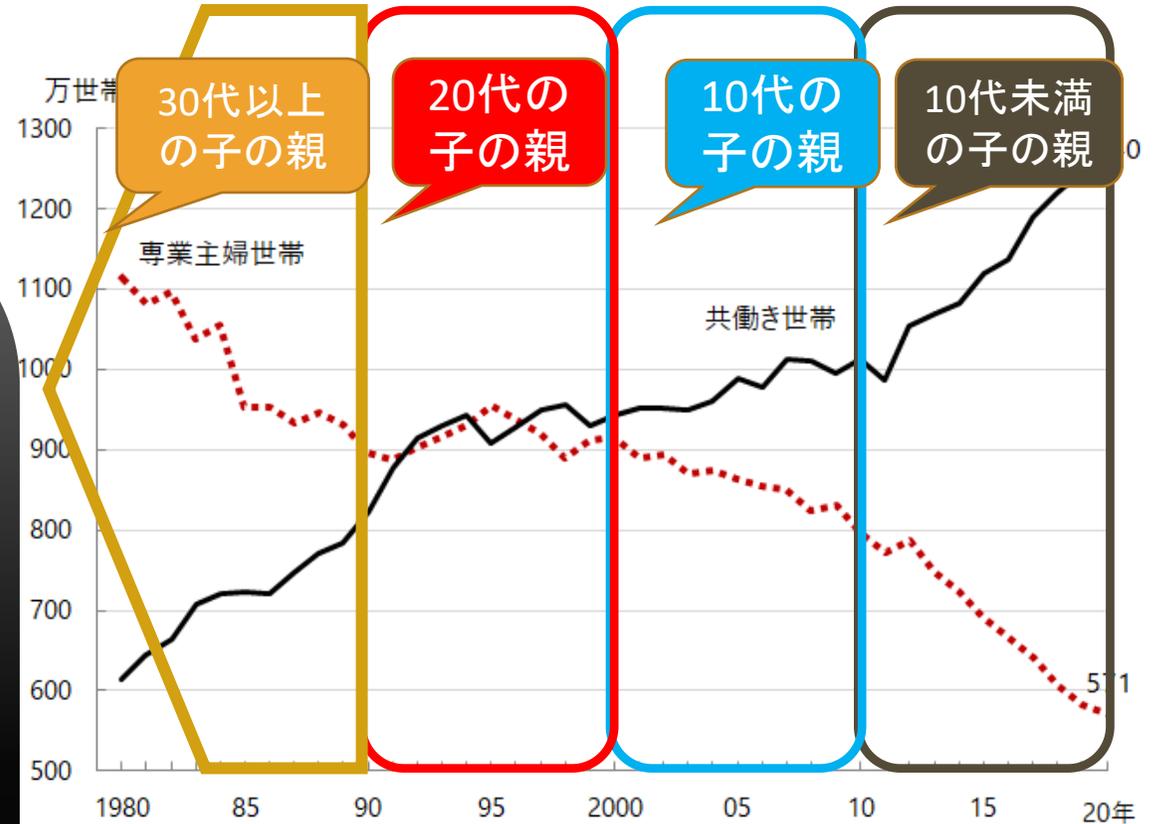
2020年 非農林業における
共働き世帯68%：専業主婦世帯32%

年代別の成育歴のベースにある
「夫婦像・家族像」が激変中

- ・ 10代未満 6－7割が共働き家庭の子
- ・ 10代 5－6割が共働き家庭の子
- ・ 20代 専業主婦、共働き家庭の子が半々
- ・ 30代～ 専業主婦家庭の子がほとんど

人口多数派の30代以上の中堅層において「専業主婦家庭」結婚/家族イメージが強く、若い世代との価値観の違いが大。若い世代の結婚観や家族観を反映しにくい人口構造。

専業主婦世帯と共働き世帯 1980年～2020年



資料出所 総務省「労働力調査特別調査」、総務省「労働力調査（詳細集計）」

注1 「専業主婦世帯」は、夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。2018年以降は、厚生労働省「厚生労働白書」、内閣府「男女共同参画白書」に倣い夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯。

注2 「共働き世帯」は、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。

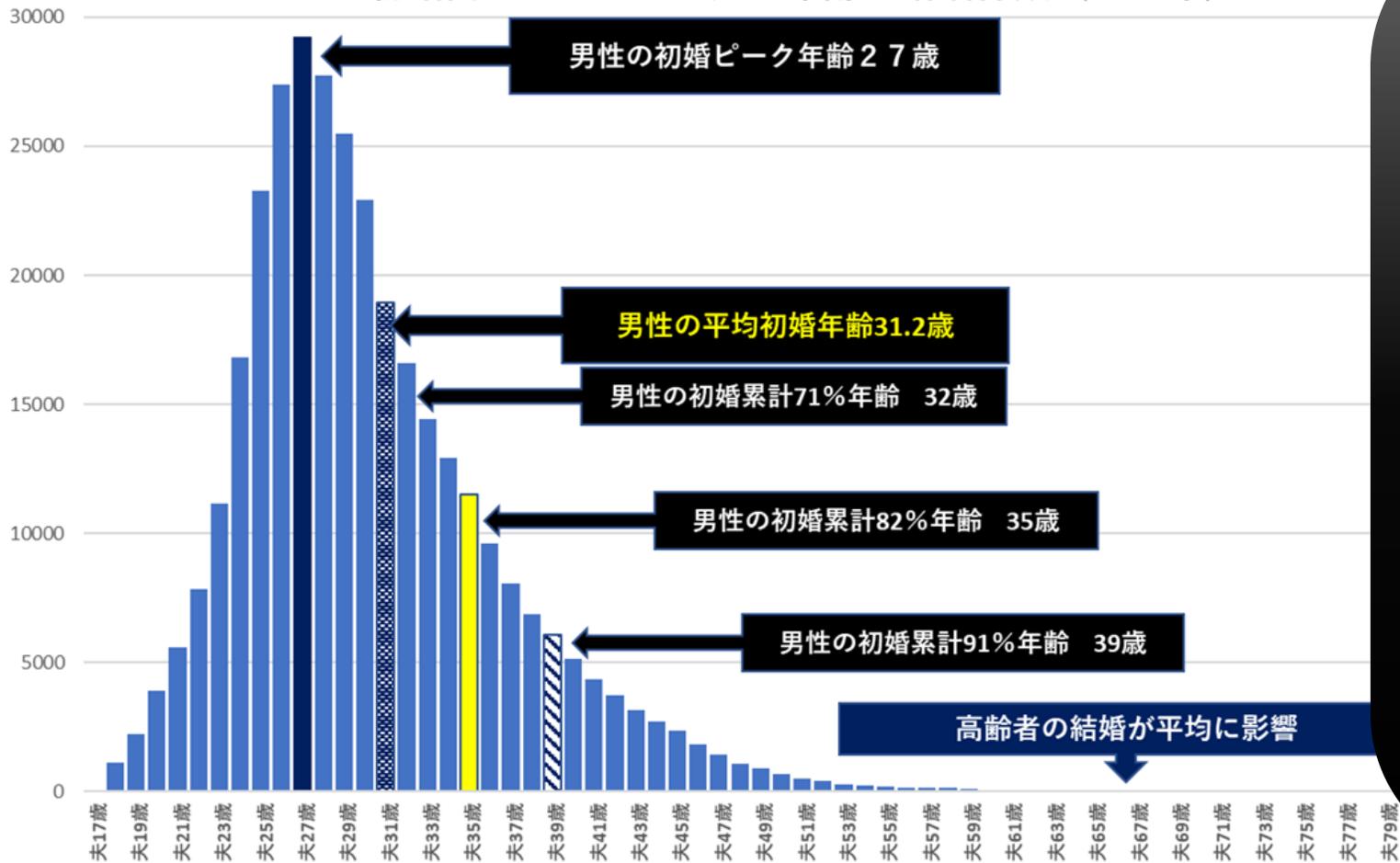
注3 2011年は岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

注4 2013年～2016年は、2015年国勢調査基準のベンチマーク人口に基づく時系列用接続数値。

「晩婚化」に関する誤解を生じやすいデータ

男性

初婚同士カップルの夫の年齢別婚姻件数（2019年）



「晩婚化」のエビデンスとして平均初婚年齢の上昇を掲げる資料は多いが、

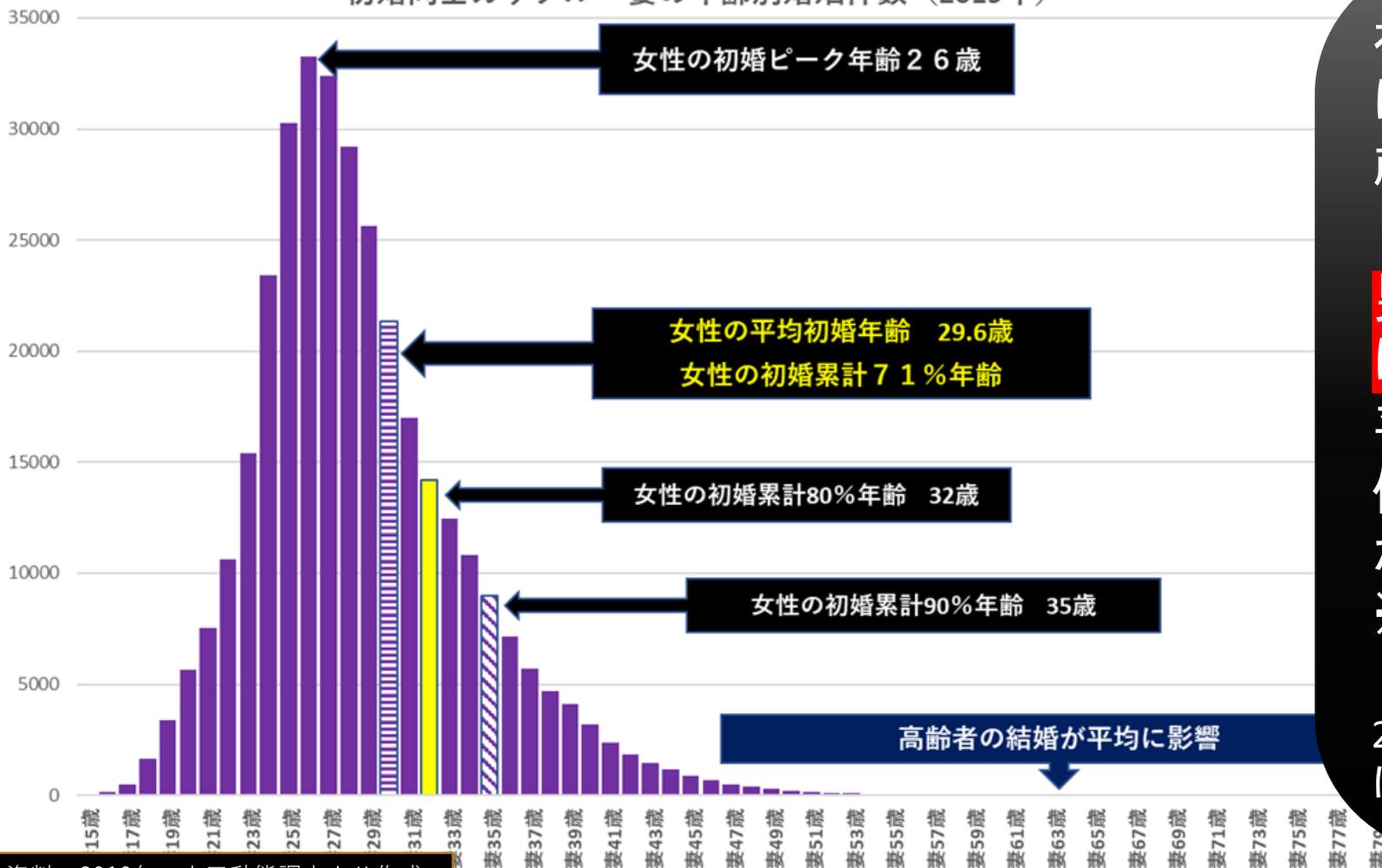
統計上の結婚ピーク年齢と平均初婚年齢の間には**4歳もの乖離**が生じ、かつ乖離は拡大傾向

初婚同士結婚・男性のピークは27歳。32歳までに、婚姻届の7割、35歳までに8割が提出される

「晩婚化」に関する誤解を生じやすいデータ

女性

初婚同士カップル 妻の年齢別婚姻件数 (2019年)



初婚同士結婚・女性のピークは26歳、32歳までに8割、35歳までに9割の婚姻届が提出

男女とも結婚適齢期に大差はない

平均年齢の上振れは高齢者の僅少な結婚（統計的外れ値）が生み出していることに注意
※ピーク年齢は動かず

2015年との比較では女性は27歳→26歳に低下

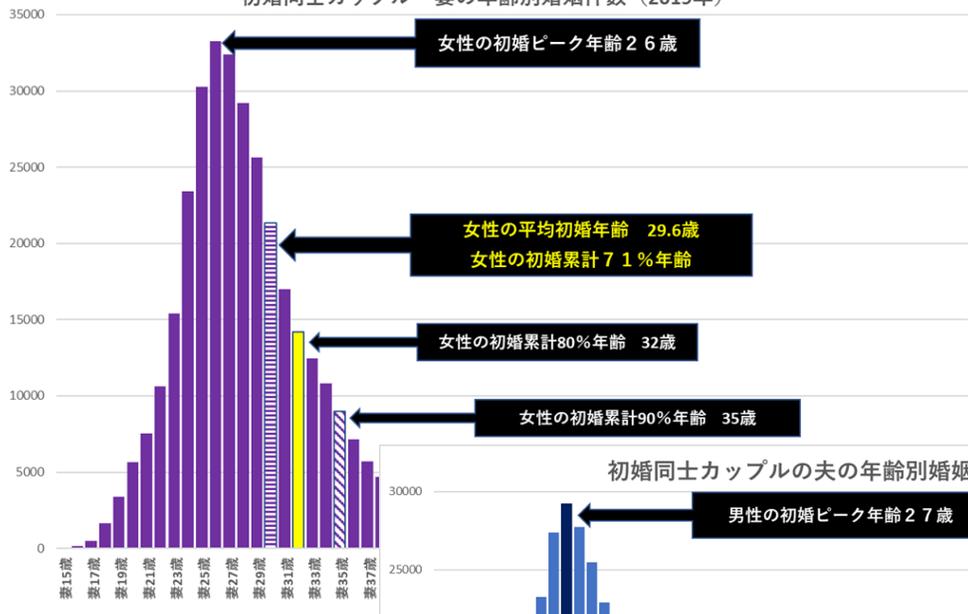


「晩婚化の誤解」について、
収入を用いた具体例で計算するとわかりやすい

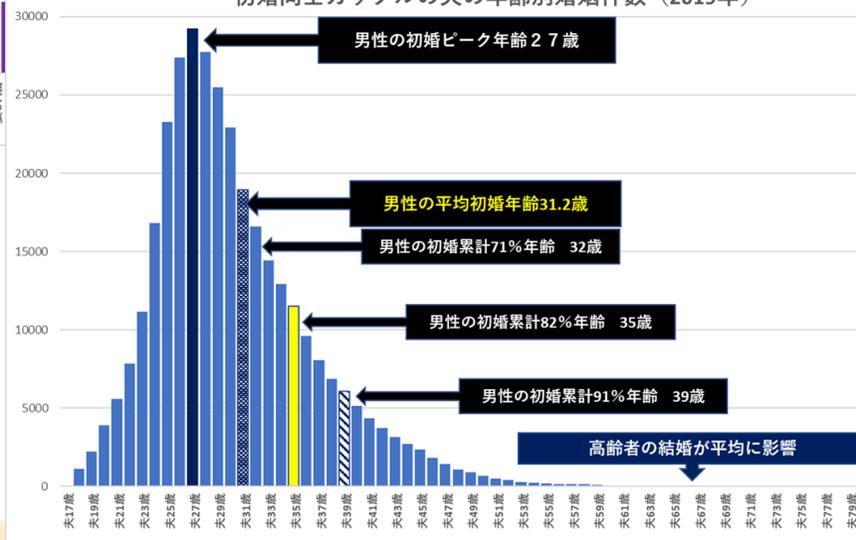
- ある村のほとんどの人（80人）が年収250万
なるも
- 年収550万円の人6人が存在
- 年収700万円の人2人が存在
- 年収800万円の人2人が存在
- $(80 \times 250 + 550 \times 6 + 700 \times 2 + 800 \times 2) \div 90 =$ 平均年収292.2万

「晩婚化」に関する誤解を生じやすいデータ

初婚同士のカップル 妻の年齢別婚姻件数 (2019年)



初婚同士のカップルの夫の年齢別婚姻件数 (2019年)



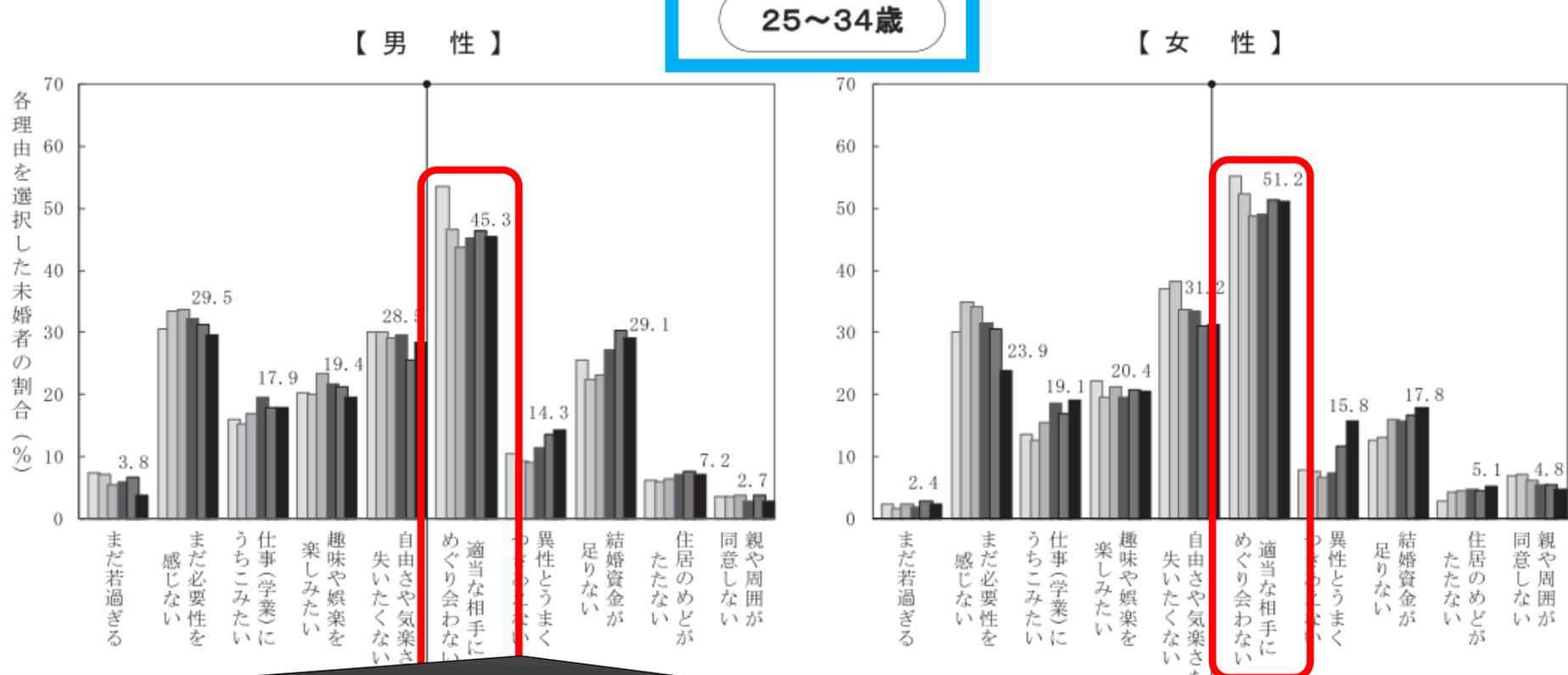
平均初婚年齢男性・30.2歳、
女性29.6歳と聞くと

「30歳くらいで婚活すればいい」
「男性は30歳を過ぎても大丈夫」

と思い込む人が多数存在

実際に初婚を目指す男女とも、平均初婚年齢あたりの婚活では、すでに7割の婚姻届けが提出済みの状況での婚活参入となる

「晩婚化」に関する誤解を生じやすいデータ



アラサー未婚者の独身なままでいる理由1位の「適切な相手に巡り合わない」は統計的に必然の回答
 ※統計上「ピークアウト」後年齢の男女の回答が多くなるため
 結婚相手に普通～人気スペックを求める男女ほど「適当」な相手は既に結婚済な年齢



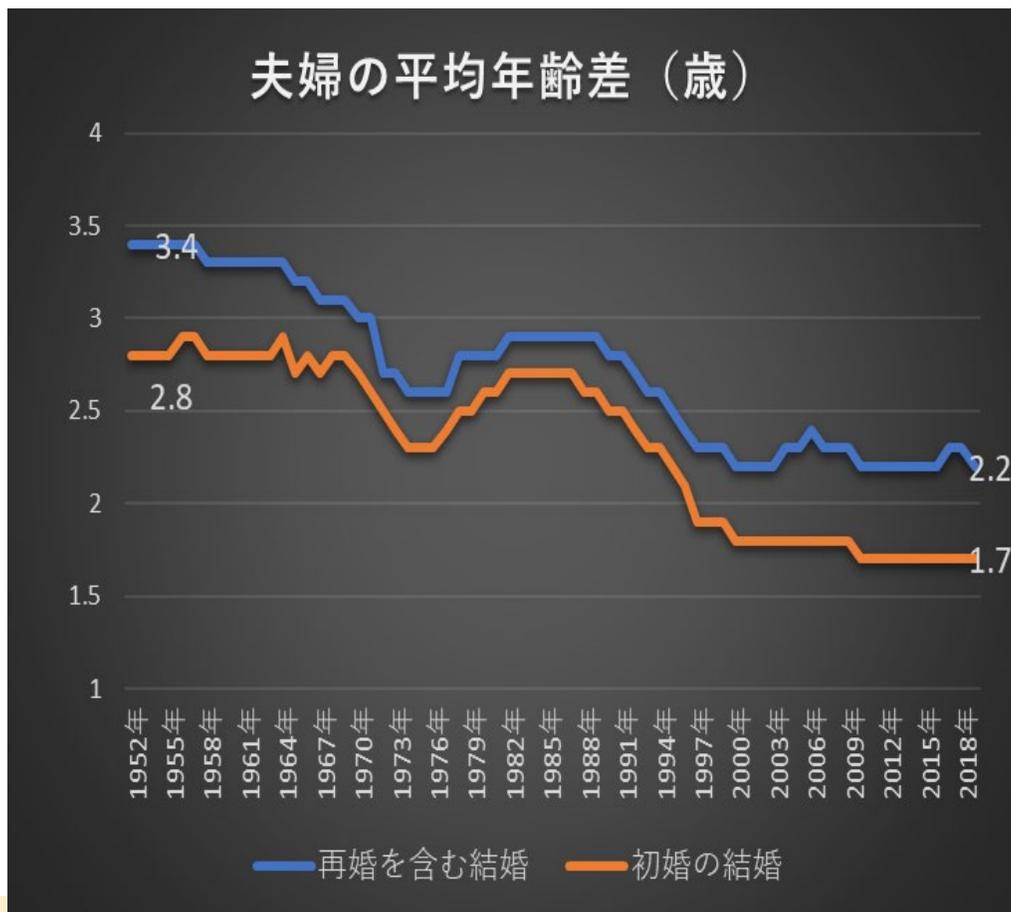
人生100年時代だからこそ起こる
誤解を防ぐ大事なポイント

国は正確なデータ「解釈」をもたらし (または添えた) 情報提供を・・・

- 国民がライフデザインの設計においてミスリードしかねない結婚と家族に関する情報発信にならないよう細心の注意を
- 人生100年時代ゆえに、「いつでも叶う」「まだまだ時間はある」といったイメージに翻弄されかねないため、ライフイベントに関する正確なデータをしっかり発信する重要性は高い—その後続く長い長い人生を「こんなはずではなかった」という気持ちで国民が過ごすことにも



夫婦の年齢差構造の変化～年齢差の縮小



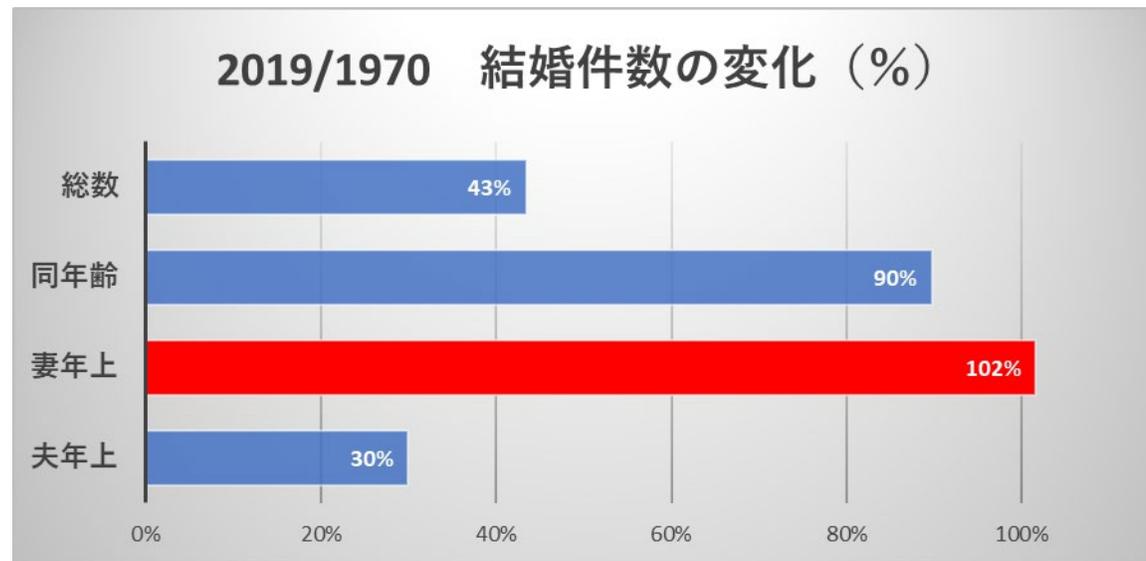
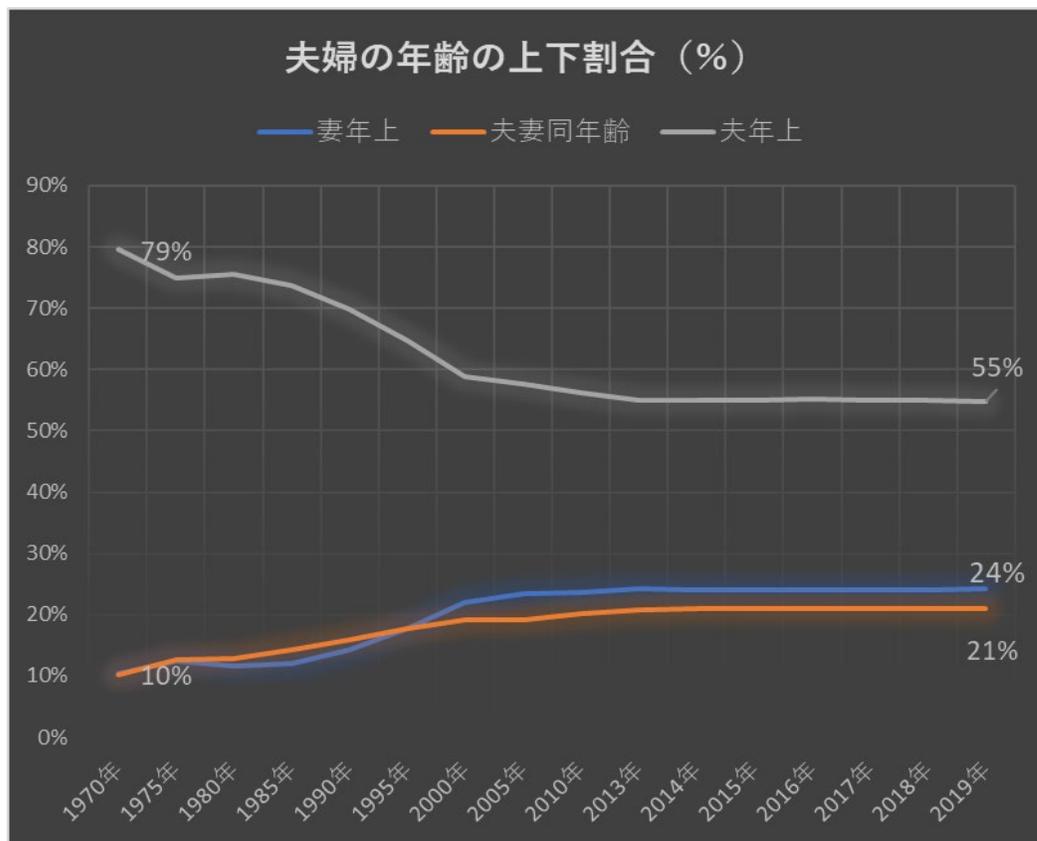
年齢差	件数	割合
妻年上_3歳	10,536	3%
妻年上_2歳	16,333	5%
妻年上_1歳	33,367	10%
夫妻同年齢	71,202	21%
夫年上_1歳	46,166	14%
夫年上_2歳	31,309	9%
夫年上_3歳	24,491	7%
合計	233,404	69%

どちらが年上でも3歳差までに69%が集中
(23万件/34万件)

ちなみに逃げ恥婚：星野さん40代前半と新垣さん30代前半の組み合わせ婚は初婚同士結婚の1.4%の割合（71組に1組）



夫婦の年齢差構造の変化～年下夫が1/4の時代へ

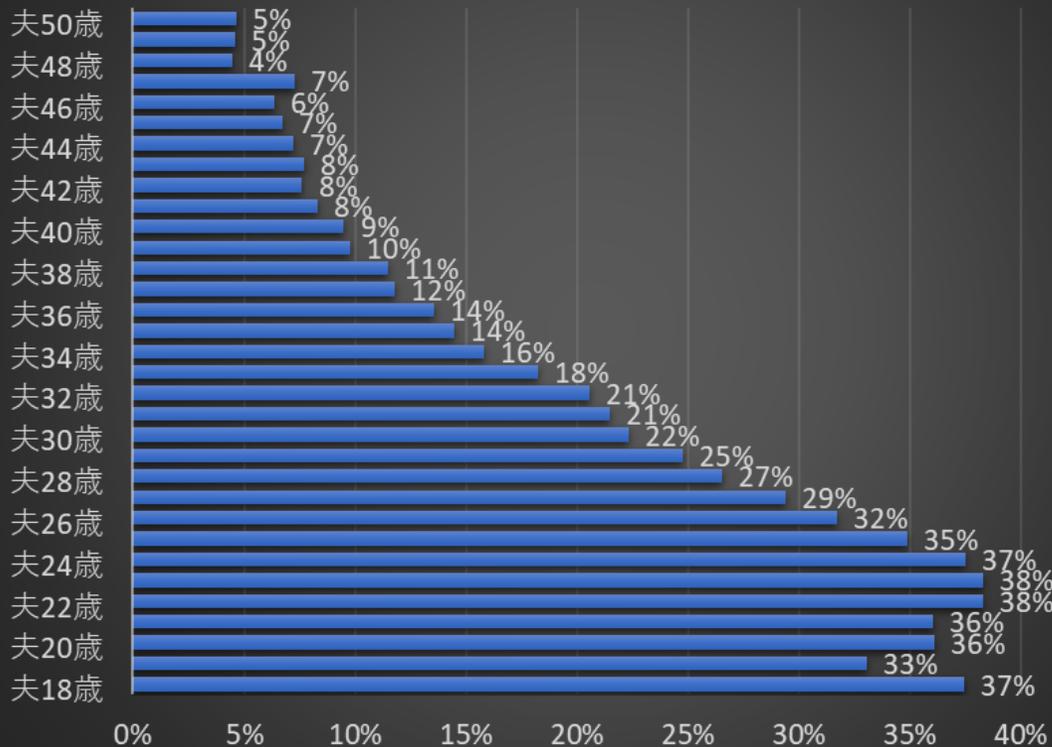


初婚同士において年上妻・年下夫カップル割合が増加
1970年との比較では年上妻婚のみ件数まで増加
 じつは日本の未婚化は、
「男性年上婚（上位婚・上昇婚と呼称される傾向）」
の急減を統計的には意味しています



夫婦の年齢差構造の変化～20代男性は31%が年上妻

2019年初婚同士 夫の年齢別年上妻割合



初婚同士の結婚では、
25歳までの初婚男性の
約4割が年上女性と結婚 (26千/72千)
26—29歳男性で約3割 (37千/133千)
30—34歳男性で約2割 (17千/86千)

若い世代ほど年上妻・年下夫に
抵抗感が低い傾向 (上昇婚不変?)

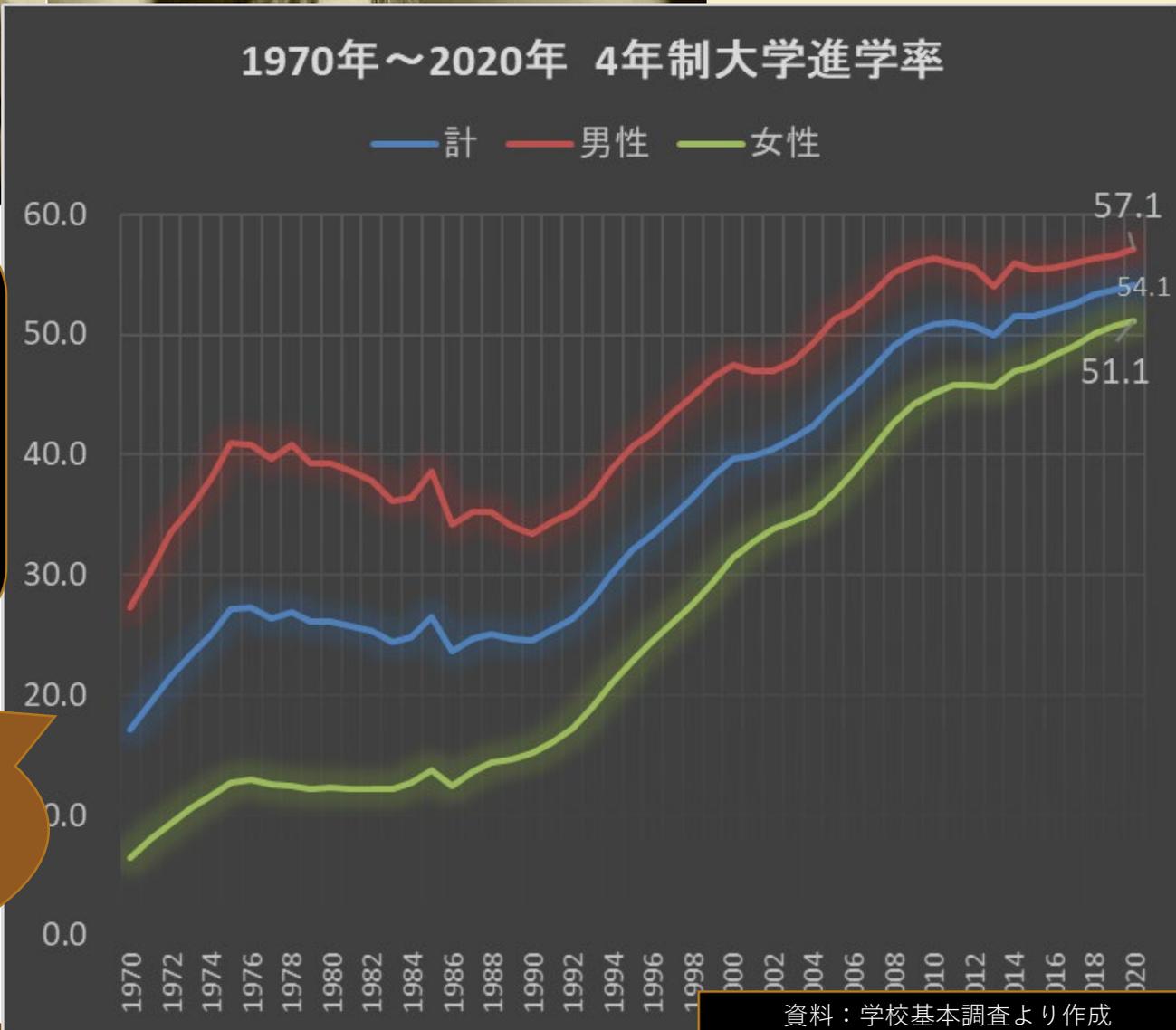
資料：2019年 人口動態調査より作成 母数が一定以下の17歳と51歳以上を除いて表示

夫婦の学歴構造の変化

夫の方が高学歴が当たり前は30代以上の感覚
—4大進学率で男女拮抗—
2020年4年制大学進学率
男性57%女性51%

大学進学率5割超で
若年層ほど男女ともに
「高学歴化」

急速な高学歴化の背景の中で世代が近いほどお互いの学歴を理解しやすい異性が多数存在
今の若い女性にとって大卒は「普通」、今の若い男性にとって短大は「知らない」存在
夫婦の年齢差の縮小にも影響



夫婦の学歴構造の変化

男女の4大進学率が上昇する
(多様な学歴のカップルが成立しやすい) 中で

2010年以降の学歴上位妻の割合は24%
高卒夫の55%の妻が高専卒以上

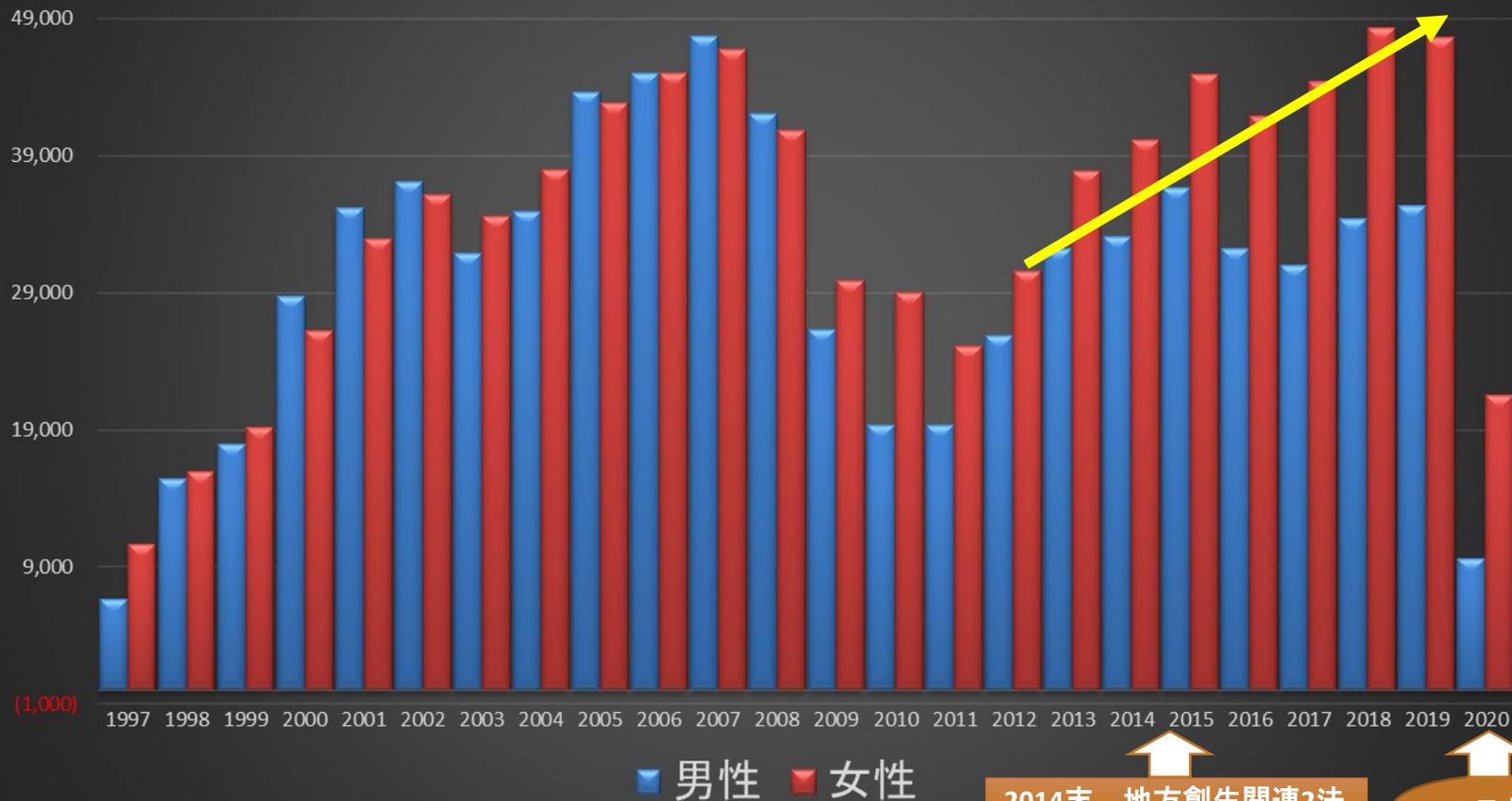
※1985-1994年調査では・・・
学歴上位妻の割合は18%
高卒夫の24%の妻が高専卒以上
学歴上位の妻を選ぶ男性の割合の上昇 (上昇婚不変?)

		総数	中学校
妻の学歴	2010年～15年調査時まで合計	993	3
	中学校	22	1
	高校(共学)	199	1
	高校(別学)	38	
	専修学校(高卒後)	217	
	短大・高専	171	
	女子大学	58	
	大学(共学)	251	
	大学院	34	
	その他	2	
	不詳	1	
その他・不詳除く合計		990	3
妻の方が夫よりも高学歴合計		241	3
学歴上位妻割合		24%	82

資料：第15回
出生動向基本調査より作成

大卒期女性の居場所の偏在化 (長期推移編)

東京都の転入超過数の男女別推移
1996年～2020年



「東京一極集中」はバブル崩壊後の96年に女性に始まり、97年から男女で発生

リーマンショック後の2009年から女性>男性が常態化

男女格差を考慮しない地方創生と大企業を義務とする女活法のダブルパンチで2015年から女性>男性が拡大 (1.4倍)

コロナ禍出控えが生じる中女性>男性が顕著に (2.2倍)

2014末 地方創生関連2法
2015 女性活躍推進法

コロナ禍

大卒期女性の居場所の偏在化 (長期推移編)

男女ともに東京都での転入超過が発生した
1997年から2020年までの男女別転入超過総数

男性 72万1,989人 (徳島県の人口 44/47位)

女性 83万 746人 (佐賀県の人口 41/47位+3万人)

四半世紀経過せずに**女性の方が男性より10万8,757人**

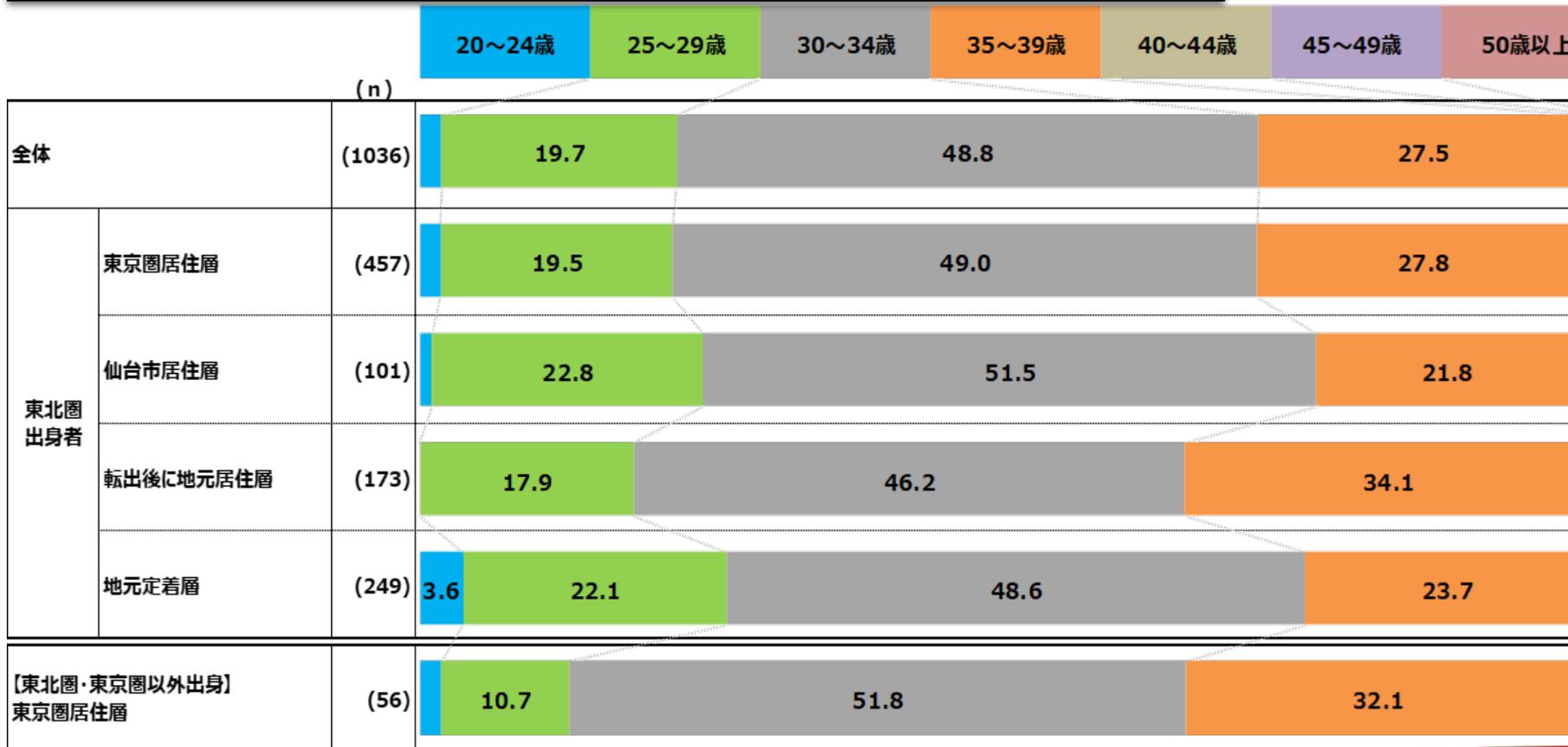
(東京都千代田区の人口6.7万、静岡県三島市10.8万)

多く移動だけで東京都に増加

年齢ゾーンはまた別途解説

20代まで女性の妊産期への意識変容

18歳～29歳女性「不妊治療を考える年齢」



29歳までの若い女性では不妊年齢に関する正確な知識が浸透してきており、

30代前半での不妊治療検討が全体の5割と圧倒的多数（フランスの不妊治療の平均年齢34歳に類似）

中高年の「のんびり妊活」観を押し付けない結婚・家族形成のライフデザイン支援が求められる

資料：東北活性化研究センター2020年「人口の社会減と女性の定着に関する意識調査」2300人

中年への晩婚対策から若年への早婚希望支援への視点変容を



人口構造上「弱者」である若者によりそう
中高年マジョリティの大人の姿を考えたい

2019年 40代人口（最多世代） 1818万人
(50代人口 1604万人)

2019年 30代人口 1380万人

2019年 20代人口 1182万人

76%

65%

人生100年時代だからこそ「長期アンコンシャス世代間モラハラ
(旧世代意識の押し付け)」のリスクは大きい



ご清聴ありがとうございました

